

フリースクールSinceのみなさんとたのしむ 美術館ワークショップ



【目的】

誰一人取り残さない共生社会づくりに向けて、制度のはざまにある人たちが安心して充実した地域生活を送れることを目指し、文化活動を切り口として支援のあり方を考えました。

近江八幡市にあるフリースクールSinceの協力のもと、フリースクールに通う児童のアクセシビリティを考えるワークショップを実施しました。美術館という空間で作品を鑑賞する機会の提供と、制作体験を通して、地域で文化に触れる場所が増えること、アートに触れる楽しさを伝えることを目的としました。

【実施内容】

日程：2026年1月8日（木）13:30～15:10

場所：ボードレス・アートミュージアムNO-MA（近江八幡市永原町上16）
野間清六邸大広間（近江八幡市永原町12）

内容：ボードレス・アートミュージアムNO-MAで展覧会の作品解説、自由鑑賞。野間清六邸にて、常設ワークショップ「勝部翔太さんのアルタイ人形づくりに挑戦しよう！」制作体験。

参加者：Since児童10名、支援者3名

障害の有無にかかわらず「表現」とは何かを問いかけるボーダレス・アートミュージアムNO-MAにて、美術館のコンセプトを学びました。企画展「アヴァンギャルドですが、なにか」に出展されていた障害のある多様な25作家による表現を鑑賞しながら、展覧会担当から制作の背景を聞いたり、作家の個性を知ることによって、作品鑑賞の楽しさを知りました。自由鑑賞では、食い入るように作品を見つめる子どもたちの様子が見られました。

展覧会鑑賞後は、NO-MAの向かいにある野間清六邸の大広間にて、作品制作を体験するワークショップを行いました。

【NO-MAでの作品鑑賞の様子】



【野間清六邸でのワークショップの様子】



【振り返り】

本ワークショップは、近江八幡市安土町にあるフリースクールSinceに通う小学2年生から中学3年生までの児童10名と、スタッフ3名に参加いただきました。

事前打ち合わせにおいて、参加者の多くが県内の美術館を訪れた経験があることがわかり、単なる作品鑑賞にとどまらず、体験的な要素を取り入れることで、より主体的に楽しめるプログラムとすることを目指しました。ワークショップの全体構成を、前半の展覧会鑑賞と後半の作品制作に分け、鑑賞で受けた刺激を、すぐに自分なりに表現する時間としました。

ボーダレス・アートミュージアムNO-MAでの鑑賞では、「この作品は何を描いているの?」「何でできているの?」といった質問が多くあり、活発でにぎやかな雰囲気の中での鑑賞となりました。参加者の年齢層が広がったため、自由鑑賞では「お気に入りの作品があったら、その理由を後で教えてね」など、目的を共有することで、主体的な鑑賞を促しました。

その結果、作品の前でじっくりと鑑賞する児童や、スタッフとの対話を楽しみながら鑑賞する児童、建物に興味を示して館内を歩き回る児童など、それぞれの楽しみ方で鑑賞時間を過ごしました。

鑑賞後の振り返りでは、「〇〇の作品がおもしろかった」「僕もあんな作品を作りたい」などの感想が聞かれ、これまで美術館を訪れたことがある児童にとっても、新たな鑑賞の楽しみ方を知るきっかけになったのではないかと考察されます。一方で、「展覧会の楽しみ方がわからなかった」といった声もあり、全員が同じように楽しむための工夫について課題が感じられた部分もありました。

「勝部翔太さんのアルタイ人形づくりに挑戦しよう!」では、1つのテーマで40分間作り続けると、取り組む児童の熱意に差が出るなどして、手持無沙汰の子がでてしまうのではないかとといった懸念がありました。そのため、自由に制作できるよう、別のワークショップの材料も用意していたのですが、実際には児童全員が時間を忘れて制作に没頭し、予定時間を超えてまで制作に取り組む姿が見られました。

後日、フリースクールのスタッフを通じて「フリースクールでも作りたいのでアルタイの購入方法を知りたい」といった声が挙がったという連絡があり、アルタイの購入先をお知らせしたところ、継続してワークショップが行われたとの報告がありました。短時間の体験であっても、継続的な興味・関心につながる機会になったことは、大きな成果だったといえます。

この取り組みは、NO-MAという地域資源の存在を知り、身近に感じてもらうことを目的として実施しています。今回の参加者は、NO-MAに初めて訪れた児童ばかりでした。鑑賞や制作を通して「楽しかった」「また美術館に来たい」「こんな作品を作りたい」といった声が聞かれたことから、その目的は一定程度達成できたと考えます。

地域の中で訪れたことのある場所が増えることは、安心して生活するための基盤のひとつといえます。本ワークショップが、そのきっかけの一助となることを期待しています。